

－ 農地活用促進プロジェクト －

参加企業が育てた作物が収穫期を迎えました！

令和7年9月16日付でお知らせしたとおり、市内の遊休農地において、企業・団体等による有効活用を目的とした実証実験を実施しています。

本実証は、近年、遊休農地の増加が深刻化する状況を踏まえ、農地の保全・活性化を図るため、市内の企業にご参加いただき、**社員研修や福利厚生などへの活用可能性を検証**する取り組みです。

このたび、参加企業の皆さまが栽培した作物（キャベツ・白菜等）が順調に生育し、収穫期を迎えましたのでお知らせします。

つきましては、下記のとおり収穫を行いますので、ぜひ当日の取材にご協力いただきますようお願いいたします。収穫作業の撮影および参加者へのインタビューが可能です。

なお、天候等により日程を変更する可能性がございます。**取材をご希望される場合は、1月16日（金）までに**下記担当までご連絡ください。

農地活用促進プロジェクト（収穫作業）

- **日 時** 令和8年 **1月20日（火）9：00～作業終了次第（2時間程度見込）**
※1月18日時点で雨天予報の場合は、**1月19日（月）に変更**します。
変更連絡は、1月18日（日）17時までに行います。

- **概 要** 内 容：キャベツ・白菜等の収穫
実施場所：福岡市西区今宿青木
集合場所：株式会社JAファーム福岡（福岡市西区今宿青木251-1）

- **参加者** ・株式会社LANDICホールディングス 様
・株式会社O・B・U Company 様
・株式会社ホンプロ 様

- **これまで** ・令和7年9月22日（月）キャベツ作付け
・令和7年10月6日（月）追肥・白菜作付け



▼これまでの作業の様子



《問い合わせ先》

農林水産局農業政策課 永田、小川 [電話 092-711-4851]

企業等による遊休農地活用に向けた実証実験を開始します

近年、農業従事者の高齢化や後継者不足により、全国的に遊休農地の増加が深刻化しています。農地は一度遊休化すると、数年で荒廃が進み、雑草の繁茂や病害虫の発生など、周辺の耕作地に悪影響を及ぼすほか、耕作可能な状態に戻すには多大な費用と労力を要します。福岡市においても遊休農地は増加傾向にあり、新たな遊休農地の発生防止や既存の遊休農地の活用が課題となっています。

こうした状況を踏まえ、本市では、企業・団体等による遊休農地の有効活用に向けた実証実験を開始します。

作付けや収穫などの農業体験活動を企業の社員研修や福利厚生などのプログラムとして取り入れることにより、農地の保全と関係人口の増加による農地の活性化を図るものです。

つきましては、第1回目となるキャベツの作付けを下記のとおり実施いたします。

取材を希望される場合は、9月18日（木）までに下記担当までご連絡くださいますようお願いいたします。

農地活用促進プロジェクト

- **日 時** 令和7年9月22日（月）9：00～作業終了次第（1時間程度見込）
※雨天時は、9月26日（金）に延期します。
延期の場合は、9月21日（日）17時までにご連絡します。
- **概 要** 内 容：キャベツの作付け
実施場所：福岡市西区今宿青木
集合場所：株式会社JAファーム福岡
（福岡市西区今宿青木251-1）
- **参加者** ・株式会社LANDICホールディングス 様
・株式会社O・B・U Company 様
・株式会社ホンプロ 様
- **スケジュール** 9：00頃 集合・作付け説明
9：10頃～ キャベツの作付け
- **今後の流れ** ・10月6日（月）追肥・白菜作付け ※予備日は10月10日（金）
・1月下旬ごろ 収穫 ←ぜひ取材をお願いいたします。



「問い合わせ先」

農林水産局農業政策課 永田、小川 [電話 092-711-4851]